

令和7年度第2回函館方面江差警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月8日（月）午前10時30分から午後0時0分まで

2 開催場所

函館方面江差警察署 道場

3 出席者

- (1) 協議会委員 6人（定員6人）
- | | |
|-------|---------|
| 会 長 | 三 上 修 吾 |
| 副 会 長 | 松 崎 真由美 |
| 委 員 | 庄 山 江利子 |
| 委 員 | 竹 内 春 美 |
| 委 員 | 酒 井 正 則 |
| 委 員 | 蛸 崎 修 |
- (2) 警察署員
- | | |
|-----------|---------|
| 署 長 | 大 橋 俊 夫 |
| 副署長兼警務課長 | 松 江 潤 |
| 刑事・生活安全課長 | 岩 谷 匡 俊 |
| 地域課長 | 濱 口 真 記 |
| 交通課長 | 高 橋 昌 之 |

4 会長挨拶

今年も残り3週間弱となりましたが、今年も全国的に SNS を使用した特殊詐欺事件が毎日のようにテレビや新聞で報道されています。

12月からはマイナ保険証も始まりましたので今後、マイナ保険証に絡む詐欺事件も発生するのではないかと心配しています。

江差警察署管内でも、新聞で2件程度の発生及び銀行などで未然に防いだという報道もされていました。

今回の会議では、今後一人でも被害者が減るように活発な意見交換を行いたいと思いますので、皆様よろしく願いいたします。

5 署長挨拶

本日はご多忙の中、令和7年度第2回江差警察署協議会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

私も江差警察署に赴任して8か月が過ぎ、いま振り返ると、大きな事件、事故の発生はありましたが、この人口規模の警察署としては良く発生を抑止できたのではないかと思います。これもひとえに、この協議会の結果の賜物だと思います。

今年は、事件、事故の発生件数は抑えられたのですが、ヒグマ関連の事案が多発した年でもありました。

ただ、今年はヒグマの駆除を昨年の4倍くらいしていただきましたおかげで江差警察署管内での人身被害は1件も発生していません。これも、各自治体、猟友会の皆様のご尽力のおかげだと思っております。

12月に入り、ようやく目撃通報も治まりましたが、12月末までは警戒レベルを下げずに取り組んでまいりたいと思います。

今後も私達は、皆様のために努めさせていただきますので、意見、要望などあれば、なんなりと言って下さい。

皆様の意見、要望はできる限り警察行政に反映させたいと思います。

本日はよろしくお願いいたします。

6 業務概況説明

- (1) 特殊詐欺等の被害の発生状況
- (2) 刑法犯認知・検挙状況、事案発生状況、各種啓発実施状況
- (3) 交通事故発生状況、交通安全活動状況
- (4) 地域警察官の活動、情報発信活動状況、ヒグマの出没状況

7 前回協議会意見・要望への対応状況説明

前回の協議会で、防災対策や、警察署、駐在所に期待することなどについて様々なお話をさせていただきました。

これらに対しまして、江差警察署での活動について説明したいと思います。

今年は道内でヒグマによる人身被害などが多発し、江差警察署管内でも農作物などの食害が多発するなど、「もはや災害級」とも言われる状況で、江差警察署の活動としても、やはり、ヒグマ対策がメインとなりました。

江差警察署での対策としては

- ・ ヒグマ出没時の付近住民に対する注意喚起広報活動
- ・ 自治体、猟友会と連動した安全対策
- ・ ヒグマが活動を始める、夕方時間帯を中心とした署員によるレッド走行、レッド駐留

・ 函館方面本部勤務員と合同で、深夜から夜明けまで、ヒグマ出没地帯の警戒を実施して参りました。

付近住民の方からは、「警察が見回りしてくれていると安心します。」など感謝の言葉をいただいております。

今後も自治体や関係団体と連携し、各種安全、安心対策を継続してまいります。

8 諮問事項

(1) 特殊詐欺防止対策について

～実際に特殊詐欺の体験訓練（年金の一部未払い事案）を実施～

警察 実際に体験してみた感想はいかがでしょう。

委員 80歳くらいの高齢者だったら、すぐに騙されると思います。

警察 人は聞いたことがない言葉を聞くと、まず理解しようとする習性があり、電話がかかってきたら相手の会話の意味を理解しようとします。

また、人は簡単で具体的な動作の指示には非常に弱く、そういう理由からATMから電話で指示されて騙される被害が多いのです。

これは、犯人側が使う心理学的なテクニックなのです。

被害に遭わないためには、相手の言いなりにはならず、確認するという作業が重要になります。

委員 私が勤める信用金庫でも、先月、高額な現金を振り込もうとしている高齢者がいました。

話を聞くと明らかに SNS 詐欺に引っかかっている状態だったので、詐欺かもしれないので一度振り込むのをやめるよう説得したのですが、その高齢者はお金は必ず戻って来ると完全に信じ切っている状態でした。

まさに洗脳されている感じで、あらためて、最初の段階で振り込むのを止めるのが難しいと感じました。

警察 いつも、水際で詐欺被害を抑止していただき本当にありがとうございます。

高額現金を振り込もうとしていることが分かった時点で110番通報していたのであれば、すぐに警察も向かいますので今後もよろしくお願いいたします。

委員 私の個人の携帯電話に大阪府警から電話がかかってきたんですが、ちゃんと私の名前も知っていたんです。

話を聞いていくと詐欺電話だと気が付いたので途中で切りましたが、犯人側が個人情報を知った上で連絡がくるというのも信じてしまう要因になっていると思う。

警察 このような手口があるという事を、皆さんからも情報発信していただければ

ば被害も減ると思いますので、今後ともよろしく願います。

(2) 警察が取り組む被害者支援について

～被害者支援活動内容及び当署の活動状況について説明～

警察 被害者支援について何かご感想、ご意見などありますか。

委員 警察の仕事と言えば、取締りというイメージが強いのですが、被害者に対して警察でも支援をするということは非常に重要な取り組みだと思います。

被害者は非常に傷ついているので、今後も活動を広げてほしい。

委員 被害者が困っているか、困っていないかを確認するのは警察だけですか。

警察 事件、事故が発生した場合、警察が最初に被害者に関わるが多いため、ほとんどの場合、警察が中心となって被害者のニーズの集約を行い、関係機関に引継ぎをする場合が多いですが、他の機関が行う場合もあります。

委員 シェルターは近くだと、何処にあるんですか。

警察 シェルターは函館にあります。江差署の場合は管内のホテルや民宿を公費を負担してシェルターの代わりに利用しています。

委員 犯罪被害者支援要員対象事件の発生件数を教えてもらいましたが、少ないとは言え重大事件事故が発生しているという事をあらためて認識できましたし、被害者の方にどのように接すれば良いのかなど大変勉強になりました。

9 特殊装備資機材などの展示及び説明

～耐刃防護衣、防弾チョッキ、フォースレスキュー、特殊大楯などを展示～

委員 耐刃防護衣を手に取り～こんな重いとは思いませんでした。

夏には、少し軽くなるんですか。

警察 夏冬関係なく、常時この耐刃防護衣を使用しています。

委員 フォースレスキューを手に取り～これは何ですか。

警察 これはフォースレスキューと言って、災害警備資機材です。

災害などで車両内に人が閉じ込められた場合など、これで車両を破壊し車内から人を救出する時に使います。

委員 凄い重いですね。大変ですね。

10 次回の開催予定及び諮問事項について

(1) 次回開催予定

令和8年3月上旬を予定しています。

(2) 次回諮問事項

次回開催までに事務局で調整の上、決定します。